

みずほCustomer Desk Report 2022/09/05 号 (As of 2022/09/02)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	140.11
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	140.10	0.9952	139.36	1.1547	0.6795
SYD-NY High	140.80	1.0033	140.75	1.1589	0.6855
SYD-NY Low	139.88	0.9941	139.32	1.1497	0.6780
NY 5:00 PM	140.13	0.9957	139.61	1.1520	0.6808

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,318.44	▲ 337.98	日本2年債	▲0.0800%	0.0000%
NASDAQ	11,630.86	▲ 154.26	日本10年債	0.2400%	0.0000%
S&P	3,924.26	▲ 42.59	米国2年債	3.3935%	▲0.1223%
日経平均	27,650.84	▲ 10.63	米国5年債	3.2971%	▲0.1056%
TOPIX	1,930.17	▲ 5.32	米国10年債	3.1941%	▲0.0640%
シカゴ日経先物	27,515.00	▲ 270.00	独10年債	1.5160%	▲0.0520%
ロンドンFT	7,281.19	132.69	英10年債	2.9150%	0.0360%
DAX	13,050.27	420.04	豪10年債	3.6970%	▲0.0210%
ハンセン指数	19,452.09	▲ 145.22	USDJPY 1M Vol	11.83%	▲0.35%
上海総合	3,186.48	1.50	USDJPY 3M Vol	11.56%	▲0.32%
NY金	1,722.60	13.30	USDJPY 6M Vol	11.20%	▲0.24%
WTI	86.87	0.26	USDJPY 1M 25RR	0.06%	Yen Put Over
CRB指数	284.47	▲ 0.14	EURJPY 3M Vol	12.37%	0.03%
ドルインデックス	109.53	▲ 0.16	EURJPY 6M Vol	12.29%	0.04%

東京	東京時間ドル円は140.10レベルでオープン。約24年ぶりの節目達成感からオープン直後は売りに押され139.88まで下落するも、仲値にかけては実質5・10日における実需ドル買いフローを巻き込みながら140円前半へ反発。その後もじりじりと上値を試し140.43まで高値を更新。もっとも、米雇用統計発表を控えた様子見ムードに引けにかけては小下落し140.32レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、140.32レベルでオープン。午後に8月雇用統計を控えて膠着状態に終始。140.43レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	140.43レベルでNYオープン。注目の米8月雇用統計では失業率が上昇したものの、非農業部門雇用者数変化や労働参加率が予想を上回った。発表直後の売買交錯で一時140円割れとなる場面もあったが、総じて良好な指標結果を受けて買いが強まり、一時140.80まで急伸。買いが一巡すると、米金利が低下したこともあいまって140円ちょうど付近まで反落するも、ドル買いは根強く、140円台を維持。午後も140円台前半でしっかり。結局、140.13レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロは0.99台半ばでスタート。欧州天然ガス価格の下落や欧州株の堅調推移がユーロの買い戻しをサポートし、早朝には1.0018まで上昇。その後、小幅反落し、0.9990レベルでNYオープン。朝方は米雇用統計の結果を受けてパリレベルを挟んだレンジでもみ合ったが、その後は米金利低下を受けてドルが売られ、1.0033まで上昇する。しかし「ノルドストリームが修理のため稼働停止」との報道が伝わると欧州エネルギー不足問題への懸念再燃で欧州通貨の売りが強まった結果、0.99台半ばまで急落。午後は0.9960近辺で上値重く推移。安値を0.9946まで更新後、結局、0.9957レベルでクローズ。

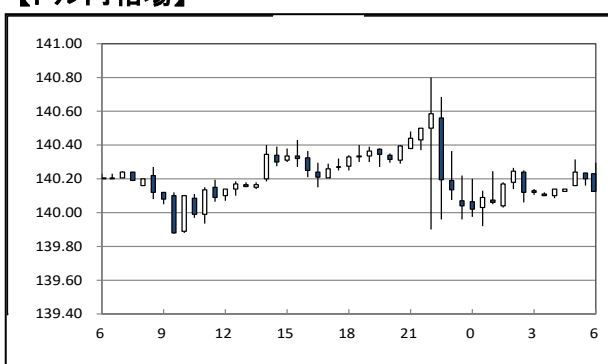
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月2日	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	7月 4.0%/37.9%	3.7%/37.3%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	8月 0.3%/5.2%	0.4%/5.3%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	8月 315K	298K
	21:30	米 失業率	8月 3.7%	3.5%
	23:00	米 製造業受注(前月比)	7月 -1.0%	0.2%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	7月 -0.1%	0.0%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	7月 0.2%	0.3%

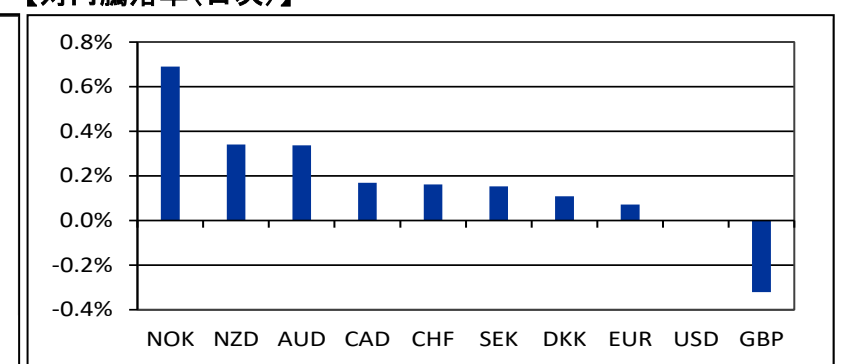
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月5日	10:45	中 Caixin サービス業PMI	8月 54.0	55.5
	17:00	欧 S&P Global サービス業PMI	8月 50.2	50.2
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	7月 0.4%	-1.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	139.90-140.70	0.9870-1.0000	138.80-140.00

【マーケットインプレッション】

先週末の海外市場でのドル/円は、上下に行って来いの値動きとなった。発表された米8月雇用統計は、非農業部門雇用者数は前月比+31.5万人と市場予想を上回ったものの、失業率は3.7%に上昇、平均時給は0.3%上昇と前月から鈍化する結果となった。米労働市場は概ね良好な状態を維持する一方で、FRBが利上げペースを加速するほどの過熱状態ではないと受け止められ、ドル/円は139.90円まで下げた後、140.80円まで急伸する乱高下となった。その後、やや弱含んだものの、欧州の景気失速懸念によるリスクオフのドル買いの動きもあり、140円台前半を維持し越週。本日のドル/円は140円台前半中心に底堅い展開を予想する。米国がレーバーデーで祝日の為、動意は限られると思われる一方で、エネルギー供給不安に対する懸念から、ユーロやボンドが対ドルで軟調となっている。米10年債利回りも未だ高値圏での動きとなっていることもサポートとなり、ドル/円は底堅い推移となりそうだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 大熊・鈴木